

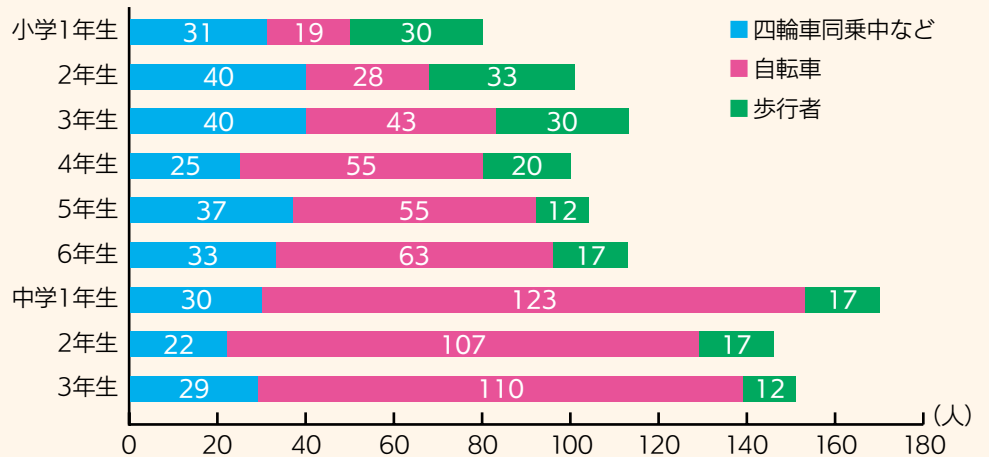
## 家族で交通ルールを見直そう

日々成長し行動範囲を広げていくこどもたち。同時に、交通事故を心配する保護者の皆さんも多いのではないのでしょうか。新しい生活が始まるこの時期に、家族で交通ルールを見直していきましょう。



### こどもの交通事故について

令和4(2022)年中に発生した愛知県内のこどもの交通事故死傷者数(右図参照)をみると、小学1・2年生は歩行中、小学3年生以上は自転車利用中の交通事故の割合が高くなっています。以下のポイントを押さえ、交通事故を未然に防ぎましょう。



出典:愛知県警察本部交通総務課「愛知県内の小中学生の交通事故死傷者数(令和4(2022)年中)」

### 押さえておきたい交通事故防止のポイント

#### 1 道路を横断するとき

- 少し遠回りでも横断歩道や信号のある交差点を利用する
- 手を上げるなどして、ドライバーに対し横断する意思を伝える
- 横断歩道を渡る前に左右から車が来ていないか確認する
- 車が止まってから渡り始める
- 横断中も左右の安全確認をする

#### 2 自転車を利用するとき

- ヘルメットをかぶる
- 夜間はライトをつける
- 自転車は並走せず一列で走行する
- 自転車に乗っているときは左側通行をする
- 道路上や看板にある「止まれ」などの路面標示・交通標識を守る
- 自転車は原則、車道を走る(13歳未満は歩道を走行可)

こどもと一緒に行動する中で、交通ルールを再確認したり、保護者が自動車運転手の視線で感じたことを伝えたりするなど、毎日小まめな声掛けをすることが交通事故防止にとっても効果的です。家族みんなで交通安全に対する意識を高めていきましょう。

